

横浜市立市民病院 診療科からのメッセージ(vol.1)

発行：平成22年9月 横浜市立市民病院 患者総合相談室

形成外科長(患者総合相談室 室長補佐兼)

佐久間 恒 (さくま ひさし)

専門：形成一般、マイクロサージャリー、リンパ浮腫、顔面神経麻痺再建

当科では、当院耳鼻咽喉科、慶応義塾大学病院顔面神経麻痺外来、東京歯科大学市川総合病院形成外科と連携して、陳旧性顔面神経麻痺に対する外科的治療を行っております。

陳旧性顔面神経麻痺の治療は、形成外科医が古くより興味を示してきた領域で、文献的には1900年の咬筋移行術などに端を発しております。近年マイクロサージャリーの発展に伴い、神経や筋肉移植法などの諸方法が数多く報告されるなかで、当科ではより生理的な笑いの再建をテーマに掲げて、独自の神経再建、筋移植による笑いの再建を行っております。

陳旧性顔面神経麻痺とは

聴神経腫瘍、耳下腺腫瘍などの腫瘍切除後、頭部外傷後、ベル麻痺やハント症候群において保存的治療によっても治癒が得られない陳旧性顔面神経麻痺や先天性顔面神経麻痺が形成外科的治療の対象となります。症状としては、眉毛下垂による視野狭窄、兎眼、下眼瞼外反などの眼症状のほか、口唇挙上運動が障害され、安静時、口唇運動時における口唇の非対称性変形を生じます。これらの変形は外見だけでなく咀嚼、構音にも影響を及ぼしQOLの低下を招きます。

当科における治療方法

再建手術は発症からの時期、年齢、麻痺の程度などにより総合的に判断していきますが、大きく分けて安静の状態での顔面の対称性をはかる静的再建と、閉眼・笑いなどの顔面の表情筋運動の回復を目的とする動的再建とに分けられます。

また、回復期におけるリハビリテーションも、治療の一環として重要となります。

① 動的再建術

発症から1年以内

表情筋の不可逆的変化が起こるまで(1年以内)は、舌下神経や咬筋(三叉)神経、健側の顔面神経などと神経縫合することで回復が期待できます。特に注目すべきは、脳の可塑性(cerebral adaptation)により、顔面神経以外の神経、例えば咬筋神経の場合、比較的早期から咬合運動なしの口唇挙上が可能となることです。最近では術後の異常連合運動を予防する目的で、上半分は三叉神経、下半分は舌下神経からの二重支配(double innervation)となるように神経再建を行っております。

発症後1年以上

表情筋が脱神経性萎縮に陥った状態では、神経移行では回復の見込みがないため、神経付き遊離筋移植を行います。閉眼するためには、側頭筋とその筋膜の一部を用いる側頭筋移行術を、頬が動かし笑えないことに対して体の他の部分から筋肉を採取して頬部に移植します（笑いの再建）。

当科ではより自然な笑いを再現すべく、前鋸筋を用いた多ベクトルの表情筋再建を行っています（別紙ご参照ください）。

②静的再建術

麻痺の症状に対して皮膚を切り取ったり、筋膜（筋肉を包んでいる薄い膜で、太ももの筋膜が主に用いられる）や糸などの動かない組織を使ったりして治すことで、例えば、上まぶたの垂れ下がりに対して上眼瞼の皮膚を一部切り取ったり、眉毛の垂れ下がりに対して筋膜などを額の下に移植して吊り上げます。

回復期における治療

自然回復または外科的治療によって神経再支配が行われた場合、神経の迷入再生により病的共同運動や顔面拘縮が出現します。このような後遺症を脳の可塑性を利用したリハビリテーション（ミラーバイオフィードバック法など）により抑えていくことが更なるQOLの向上につながります。

○学会発表・論文

- Functional Facial Reanimation Using Multivector Superficial Subslips of the Serratus Anterior Muscle Flap
H Sakuma, I Tanaka 5th Congress of The World Society for Reconstructive Microsurgery, 2009.June25-27, Okinawa, Japan
- Facial Reanimation with Free Muscle Transfer Innervated by the Masseter Motor Nerve.
I Tanaka, H Sakuma 5th Congress of The World Society for Reconstructive Microsurgery, 2009.June25-27, Okinawa, Japan.
- 陳旧性顔面神経麻痺に対する神経血管柄付き薄層前鋸筋移植—より自然な笑いの再建—
佐久間恒 田中一郎 Facial N Res Jpn 29: 114-116, 2009.
- 咬筋神経を利用した遊離筋移植による笑いの再建
田中一郎 佐久間恒 Facial N Res Jpn 29: 111-113, 2009.

外来のご案内

最新の外来担当医師一覧表は、市民病院ホームページをご覧ください。また、診療科ごとの担当医師一覧表は、市民病院ホームページの各診療科のページをご覧ください（下記参照）。

形成外科外来は完全予約制です。電話(045-331-1961:内線5132)でご予約の上、お越しください。

横浜市立市民病院

住 所: 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町56番地

電 話: 045(331)1961(代表)

当院ホームページ : <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/s-byouin/>

各診療科のご案内: <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/s-byouin/shinryobumon/>

最新の外来担当医師一

覧: <http://www.city.yokohama.lg.jp/byoin/s-byouin/shinryobumon/pdf-shinryobumon/doctor.pdf>